

てんだあ 第32号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2015年3月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



CONTENTS ~主な内容~

- 第9回南房総市社会福祉大会 2P
- 福祉作文 3・4P
- 地域福祉フォーラムレポート
福祉ニュース 5P
- ボランティアネット(和)ーク 6P
- ワンポイント介護 7P
- 善意の寄付、お知らせ 8P

若い力も手伝って 美味しいお餅ができました

第2回南房総市ボランティアまつりでの餅つき大会。当日2回予定されていた餅つきの時間には、つきたてのお餅が食べられると大勢の方が並び、ボランティアさんは大忙しでした。



八重桜
花言葉：しとやか

「心豊かな福祉のまちづくり」を目指して

第9回 南房総市社会福祉大会

第9回南房総市社会福祉大会が2月14日(土)三芳農村環境改善センターにおいて開催されました。

「住民参加によるふれあい・支えあいのある心豊かな福祉のまちづくり」の実現を目指して、地域の皆様とともに社会福祉の充実に向け一層の推進を誓いました。

社会福祉活動にご尽力され功績のあった方々への表彰と感謝状の贈呈、赤い羽根募金箱コンクール作品の表彰、同時に千葉県社会福祉協議会長表彰の伝達も行われました。

市内小中学校・高等学校の児童・生徒からの心温まる福祉作文の発表に続き、記念講演が行われました。

また、市ボランティア連絡協議会主催「第2回南房総市ボランティアまつり」も同時開催されました。市内から多くの登録団体が出展し、大盛況でした。



千葉県社会福祉協議会長の表彰の伝達

南房総市社会福祉協議会長表彰 (敬称略)
【地域福祉活動功労者】

新藤 薫、高梨みさ子、鈴木雅子、實方堯年、小林正子、平島洋子、平柳桂子、川村道子、唐尼好江

【地域福祉功労団体】

ふれあいランチサービスボランティア富山(富山地区)、丸山ゲートボール場管理組合(丸山地区)、南三原おもちゃと絵本の図書館(和田地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状 (敬称略)

上村光久(富山地区)、演歌塾・丸山(丸山地区)、南房総市体協白浜支部ゴルフ部(白浜地区)、株式会社おどや(千倉地区)

【福祉作文コンクール優秀作品表彰】

小学生の部

最優秀賞 高橋向日葵(三芳小) 優秀賞 小倉 悠(三芳小)、池田海颯(富浦小) 優良賞 高山大斗(富山小)、

佐野杏香(丸小)、日向寺帆花(南小)
中学生・高校生の部

最優秀賞 堀江 優(千倉中)

優秀賞 鈴木義己(嶺南中)、野中 葵(安房拓心高) 優良賞 高木 優(安房拓心高)、

長嶋佑香(富山中)、長岡美希(千倉中)
【赤い羽根募金箱コンクール優秀作品表彰】

小学生低学年の部

最優秀賞 明石さくら(富山小)

優秀賞 大井孝誠(富浦小)、和田輝芳(南小) 優良賞 青木菜緒(千倉小)、高橋

芽愛(和田小)
小学生高学年の部

最優秀賞 石井晴也(富浦小)

優秀賞 高橋侑愛(和田小)、川名碩人(南小) 優良賞 岡田佳凡(千倉小)、安田有希(千

倉小)

記念講演

「地域こそは人の暮らしの原点！」

元NHKアナウンサー 宮川 泰夫氏

『であい ふれあい ひびきあい〜のど自慢 12年の旅から〜』と題し、元NHKアナウンサー宮川泰夫さんにお話をいただきました。

1年365日、12年間で600回15万人の方とふれあった貴重な体験を、感動とユーモア溢れる内容で紹介してくださいました。のど自慢に出場できる方はほんの一握りのラッキーな人です。そのステージは人生のハイライト！最高のステージなのです。歌う自分も幸せな気持ちになり、周りの人にも元気を与える事ができるのです。宮川さんも司会という仕事をしながら、毎回元気をいただいたと話していました。

終わりに、人と人との繋がりを大切に、皆さんの住んでいる地域こそ暮らしの原点。心の栄養の源なのだと教えていただき、宮川さんの講演は大盛況に終わりました。



宮川さんの講演は過去最高の人出になりました

育まれる「福祉の心」 福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「福祉への思い」をテーマとした作文 317 編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

最優秀賞

《小学生の部》

「年をとつても

笑顔でくらすために」

南房総市立三芳小学校

5年

高橋

向日葵^{ひなた}

わたしは、高れい者福祉について興味があります。なぜかというとお母さんが高れい者福祉にたずさわる仕事をしていて、たまに家で高れい者福祉について話をしてくれることがあるからです。その話を聞いているうちに高れい者福祉にだんだん興味がわくようになりました。

わたしが小さい時、お母さんは高れい者しせつで働いていました。

わたしは、そこで働く人が預ける保育所に行っていて、しせつに入所しているおじいちゃん、おばあちゃんとの交流会というものがあることにありました。おじいちゃんおばあちゃん達と一緒に歌をうたったり風船投げをして遊んだりしました。

ニコニコ笑って喜んでくれる人、かわいいねと頭をなでってくれる人、中には手をギョツとにぎってなかなかはなしてくれな

い人もいました。

家をはなれて、しせつで生活していきましくなつてしまったのかもしれない。

わたしは、お母さんにおじいちゃん、おばあちゃん達は家に帰りたいって言わないの？と聞いたことがあります。お母さんは、家に帰りたいと言う人はいっぱいいるよ。でも病気で体が不自由になつてしまつて、家でお世話をするのがむづかしかったり、一人で生活するのが不安な人もいるんだよと話していました。

病気で体が思うように動けなくなつて家族とはなれて生活するのはとても不安だろうなと思います。でも、しせつにいたおじいちゃん、おばあちゃん達は、とても楽しそうでした。しよく員の人達と一緒に、歌をうたったり体操をしたりしていました。しよく員の人は、そばに

そい、みんな笑顔でした。

私も、みんなが笑顔になれるような仕事をしてみたいです。

去年、私は、ハーフ成人式の写真をとる時「私の夢」を書いて写真をとりました。わたしは介護福祉士になりたいと書きました。

介護福祉士になつて、高れい

者福祉に関係のある仕事をしてみたいのです。お母さんも、「私の夢」を見て喜んでくれました。介護の仕事は、大変だけど、とてもやりがいのある仕事だよと言っていました。

介護は、相手が人間なので、百人いれば百通りの介護のしかたがあり、答えはないそうです。毎日、毎回勉強なんだよと教えてくれました。

今、わたしのお母さんは、しせつの仕事ではなく、ほうもん介護の仕事をしています。高れい者しせつではなく、自分の家でごんばつて生活している人達の家へ行つて生活のお手伝いをしています。

同じ介護の仕事といっても、全くちがうといひます。

全部やつてあげてしまうのではなく、自分でできることはできるだけやつてもらつて一人でむづかしい事やできない事をお手伝いするようにしなければいけないそうです。

全部やつてあげてしまうことでできる事ができなくなつてしまい、自分の家でくらせなくなつてしまうこともあるからだそうです。

す。

わたしは、何でもやつてあげるのがやさしさではなく、一緒にゆつくりとできるだけ自分でやつてもらう方がやさしさなんだと初めて知りました。

やさしく親切にすることを忘れずに、でも自分でできる事は自分でやつてもらつて元気にできるだけ自分の家で生活できるような介護をしたいです。

地域の人達みんなが協力して、体が不自由になつてしまつた人も自分の家で生活できるようにしたいと思ひます。



福祉作文小学生の部
最優秀賞 高橋向日葵さん

最優秀賞

《中学生・高校生の部》

「祖父の手のぬくもり」

南房総市立千倉中学校

1年

堀江

優^{すぐれ}

「おじいちゃんたいだいま。」と、言つてももう返事がかえつてこない。寝たきりになつてしまつ

た祖父だったが、僕が学校から帰って来るのを待っていてくれた。

そんな祖父は四年前に病気で亡くなってしまった。十年以上前に間質性肺炎になり、一年以上も入院していた。退院後も、一年しないで今度は脳梗塞になり三カ月入院。右半身にマヒがあり右手で、はしも持てないし歩行も杖がないと困難なはずなのに弱音を言わずに、右手がだめなら左手を使い歩くことも杖を使いゆっくり散歩にも行ったりと頑張っていた。それに、僕たちをお風呂に入れてくれたり、自分一人でも大変なはずなのに僕たちの面倒もみてくれた。でも治ったはずだった肺炎が再発してしまい、在宅酸素をしたり、入退院を繰り返すようになってしまった。そして、今まで自分のことは自分でと頑張っていた祖父だったが、寝たきりになってしまった。どうして僕の祖父ばかり病気になってしまうのだろう。祖父がかわいそうになった。

毎日学校から帰って来ると僕

の仕事があった。それは、祖父に水を飲ませてあげることで祖父は毎回喜んで飲んでくれていた。その習慣がなくなってしまう時、さみしい気持ちになった。

「おいしい。」

「ありがとう。」

と、簡単な言葉だけど祖父から言ってもらえると僕は嬉しい気持ちになった。小さなことだが役に立っている気がした。

今、僕はこうかいはしていない。それは、毎日していた祖父に水を飲ませるといっただけのことだが、祖父が亡くなってから祖母から

「おじいちゃん幸せだったよ、毎日毎日、ありがとうね。」

と、言ってもらえたのだ。もちろん、祖父も喜んでいて。時にはめんどくさいなあと、思ってしまった時もあつたけど、祖父が喜んで水を飲んでくれていたのを見てみると、僕も幸せな気持ちになった。誰にでも出来る簡単なことではあるが、その時は僕がすることに意味があった。この習慣が、祖父と僕をつないでいたような気がする。そ



福祉作文中学生・高校生の部
最優秀賞 堀江 優さん

れは、僕以外の人が同じ部屋にいても水が飲みたくなると祖父は僕の名前を呼んだ。僕に飲ませてほしかったのだと思った。祖父と僕のコミュニケーションなのだ。

家族のためだから出来る優しいさはたくさんあるが、対人にはどうでしょうか。電車やバスで席をゆずってあげたり、困っている友達に親切に相談にのったり、自分のことより人のために何かをすることが出来るか。人の助け合いや思いやりの心をもっていたらきっと優しい社会になると思う。

僕が祖父にしてきたように、これからも思いやりの気持ちを大切に色々な人と接していきたいと思った。そして、大きくてゴツゴツしていたけど、温かかった祖父の手のぬくもりが僕の一生の宝物だ。

社会福祉協議会の会員募集

ご協力ありがとうございました。

- 一般会費
12,977,150 円
- 賛助会費
828,000 円
- 特別会費
885,000 円

平成26年度社会福祉協議会会員募集に際しまして、多くの市民の皆様からのご協力をいただきありがとうございました。また、行政区の区長様はじめ役員関係者の皆様には会費納入にあたりご協力をいただき感謝申し上げます。

ご協力いただきました会費は、平成26年度の地域福祉・在宅福祉の充実、ボランティア育成等のために有効活用させていただきます。

社会福祉協議会は、これからも市民の皆様、関係諸機関や団体の皆様とともに、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに精一杯努めて参りますので、今後とも温かなご支援・ご協力をお願い申し上げます。



FUKUSI NEWS

地域福祉フォーラム からのレポート

福祉をはじめさまざまな分野の人たちが協力して、地域福祉を考える座談会「地域福祉フォーラム」を各地区で開催しています。今回は南房総市全体でのフォーラムをレポートします。

関心の高さがうかがえる意見交換

1月22日

《南房総市地域福祉フォーラム》

市内各地区の地域福祉フォーラムの活動に携わっている方々が集まり報告・情報交換を図る「南房総市地域福祉フォーラム」を開催しました。

はじめに、千葉県社会福祉協議会地域福祉推進部川上浩嗣部長から「地域福祉の現状と今後の取組みについて」と題し、介護保険制度の改正や生活困窮者自立支援法の施行による支援などについて説明があり、地域で見守るネットワーク作りが大切だと再確認しました。

続いて、各地区の日頃の活動や今後の課題などについて発表がありました。講演やお楽しみ会の開催、地域の課題について話し合い、さらに一人ひとりの支援の取組みなどが報告されました。

活動方法は様々ですが、地域の福祉力が高まってきた事を感じたフォーラムでした。



貴重な意見交換が行われました

園児も高
齢者も、笑
顔いっぱい
お腹もいっ
ぱいになり
ました。



ペッタンペッタン楽しいお餅つき

三芳地区にお住いの高齢者と三芳子ども園4・5歳児とその祖父母を対象に、ボランティア連絡協議会三芳支部協力のもと、ふれあい交流もちつき大会を行いました。
おじいちゃんおばあちゃんと力を合わせて一緒についたおもちが柔らかくて格別なおいしさでした。
もちつき大会のあと、園児たちからお礼の歌の披露があり、可愛らしい歌声や一生懸命な姿を見て参加者の皆さんも一緒に歌ったり手拍子をしていました。

1月27日

子どもも大人も
お餅を食べて笑顔いっぱい

《ふれあい交流もちつき大会》



どうやるのか、教えてね

ほと笑顔
いっぱい
のふれあ
い交流と
なりまし
た。

和田地区にお住いの高齢者の方に、和田小学校1・2年生が学校での勉強の成果を発表する高齢者とのふれあい交流会を行いました。
今年度3回目の交流会だったということもあり、顔見知りになった高齢者から「あら〜また大きくなったんじゃないの?」と声をかけられたりして、和やかな雰囲気の中が始まりました。高齢者の方は子供たちに「ここはどうするの?」「これであってる?」などと言いかけてしながら一緒に手作業をしていました。
少々肌寒かった会場でしたが、子供たちの元気と、その元気に刺激された高齢者の熱気で、寒さも感じなくなる

1月28日

僕たちが教えてあげる!

《和田地区社協ふれあい交流》

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

ボランティア
連協

第2回南房総市 ボランティアまつり開催

2/14

広かれ!

ボランティアが活動をレポート

ボランティアネットワーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

南房総市社会福祉大会と同日開催された、第2回南房総市ボランティアまつりは市内 21 団体と、安房管内の福祉施設 12 施設が参加し盛大に開催されました。

日頃の活動を紹介するパネル展示コーナーや人形劇、手工芸品の販売、今年度は、絵本のよみきかせや踊りの披露もあり、昨年度より内容が充実され各ブースとも大賑わいでした。



チーバクンとハイチーズ



みんな読み聞かせに夢中



じゃんけん大会も白熱しています

ボラ登録更新の
お知らせ

市内で福祉活動を展開しているボランティアさん!

平成27年度ボランティア登録受付が始まります

4月1日
から

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの育成とその活動を支援するため、平成27年度のボランティア登録の受付をします。

登録には、一定の要件を満たすことが原則となっていますが、登録をされた場合、下記の支援がうけられます。

◎登録すると・・・

- ①社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険への加入。
- ②社会福祉協議会が発行する情報誌等への、活動内容の掲載や、活動に関する相談助言。
- ③ボランティア活動助成金の交付
- ④社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録した各団体同士の情報交換や交流

登録を希望されるボランティア(団体・個人)の方は、南房総市社会福祉協議会(本所)またはお近くの地域福祉センターで登録の手続きができます。ぜひ、この機会に登録をお願いします。

ご報告



歳末たすけあい募金は、配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ民生児童委員を通じ、お届けいたしました。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金 6,798,904円

歳末たすけあい募金 6,683,210円



10月からの赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様から多くのあたたかい善意をお寄せいただきました。

行政区を通じての戸別募金をはじめ、市内の商店街や会社、各学校の児童・生徒の皆さん、各種団体やボランティアの方々など、多くのご協力をいただきありがとうございました。



ホームヘルパーの ワンポイント

かいGO 介護

入浴について②

**お風呂場には
危険がいっぱい!**

安全で心地よい入浴になるように、一工夫
するだけで楽しい入浴タイムになります。



どんな危険があるの?

浴室の床や浴槽内などは、滑りやすく転倒の危険があります。



転倒を予防する方法は?

浴槽の中に滑り止めマット、滑り止め椅子。床マットや
シャワー椅子を使用すると良いでしょう。

手すりなどを利用し安心感を持たせることで不自然な
力が入らないようにする目的もあります。

入浴後は、湯冷めに注意し、脱水予防のため水分をと
りましょう。

介護についてのご相談は

- 南房総市社会福祉協議会
ケアプランセンター ☎29-5022
- 南房総市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス ☎29-5021

3月4日

私の想いを伝える心の遺言ノート

シニアライフ講座～エンディングノート編～

前回好評だった「エンディングノート」の書き方講座を市川市社協の川名成和氏を講師に迎え開催しました。

地域の方の意見を取り入れて作った「心の遺言ノート」を題材に、書き方のポイントを教わりました。

無理なく、書けるところから書いていくこと、そして財産の事だけではなく、暮らしぶりを伝えるといった「自分史」を大切にしてほしいとのことでした。

当日は、グループごとに書き方の練習をしたり、発表しあった中で、改めて自分の事を考える事の大切さ、人(家族)に伝える大切さを学ぶ事ができました。



自分の為、家族の為のノートです

2月17日・18日

美味しくて安心して食べられる お弁当を目指して!

～給食ボランティア研修会～

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的とし、お弁当をお届けするふれあいランチサービスにご協力頂いているボランティアを対象に、内房地区・朝夷地区と2会場に別れて、研修会を行いました。

安房健康福祉センターの和田彩氏を講師に迎え、食中毒の発生状況や気をつける食品、食中毒を防ぐ3つの原則、手洗いチェッカーを利用した適切な手洗い方法について講習を受けました。

講習後は、各地区でお弁当を作る際に気を付けていることや課題について意見交換を行い、普段なかなか会う機会がないので、「他の地区の様子が聞けてとても参考になりました。」との声も聞かれ、とても有意義な研修会となりました。



手洗いチェッカーで洗い残しの確認中



たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略/平成26年12月～平成27年2月

南房総市体協ゴルフ部白浜支部	34,329 円
鋸南ロータリークラブ	30,000 円
(有) 外立商事	10,000 円
南房朝市組合	28,021 円
三石山観音寺(講)	50,000 円
石井カラオケ南房会	91,820 円
笹子佳孝・黒田幸宏・笹子大輔	300,000 円
「舞花」カラオケ愛好会	30,000 円
富浦建設協同組合	20,000 円
青木板金	車イス 1 台
匿名 3 件	98,466 円

第2回南房総市ボランティアまつりで ご協力いただいた方々のご寄付

なみはらっこくらぶ	1,000 円
ふれあい喫茶「なごみ」	1,000 円
茶香会	1,000 円
平館むつみ会	1,000 円
オレンジの会	10,000 円
もみじ会	1,000 円
ボランティア連協千倉支部	1,000 円
ランチサービスくら	2,000 円
びわっこランチサービス	900 円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

お知らせ

紙おむつを給付します

南房総市内に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベッド上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する要介護認定3・4・5の方
	・身体障害者手帳1級・2級の方
	・精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方
品目	紙おむつ 尿取りパット フラットタイプの内1品目

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で要介護4・5の方 ※要介護高齢者の属する世帯全員が前年度市民税非課税の世帯
	品目 紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内

申込期限/平成27年4月30日(木)まで

給付月/平成27年6月

申込先/南房総市社会福祉協議会各地域福祉センター

問い合わせ先/南房総市社会福祉協議会(本所)

または、お近くの地域福祉センターへ。

編集後記

- ★福祉作文コンクールでは、優しい気持ちになれる素敵な作品をたくさんご応募いただき、ありがとうございました。(S)
- ★社会福祉大会の社協ブース(事業紹介・ぬりえ・抽選会)にたくさんの方においでいただき、大盛況でした。(N)
- ★南房総市社協のキャラクター「みなみん」今年も大活躍の予感です(Y)



みてみて!



facebook



twitter

【無料法律相談】

～法律に関することでお悩みの方～

時間/午後1時～午後4時

予約・問い合わせ ☎44-3577

開設日	場 所	担 当
4月30日(木)	ちくら介護予防センターゆらり	弁 護 士
5月28日(木)	和田地域福祉センターやすらぎ	司法書士
6月25日(木)	とみうら元気倶楽部	弁 護 士

○事前予約申込：随時電話にて予約を受け付けます。

○定 員：6人(相談はおひとりにつき30分まで)

○そ の 他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 ☎44-3577

【心配ごと相談所 終了のお知らせ】 結婚相談所



南房総市社協では、「日頃の困りごとや悩み事にお応えする心配ごと相談所」を、また「毎月1回第1金曜日に相談員による個別相談やお見合いなどを実施してありました結婚相談所」が、平成27年3月末をもちまして終了させていただきますこととなりました。

これまで、ご利用いただきました皆様ありがとうございました。

なお、引き続き日頃の困りごとなどのご相談につきましては、南房総市社協地域福祉センターまたは、本所にて承りますので、ご利用ください。

結婚相談につきましては、婚活イベントを実施してまいりますので多くのご参加をお待ちしております。イベント開催時には、チラシ等でお知らせいたします。

一 発行・編集 一

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎44-3577 ㊚44-3542

- ◆富浦地域福祉センター ☎33-4565
- ◆富山地域福祉センター ☎57-2926
- ◆三芳地域福祉センター ☎36-2276
- ◆白浜地域福祉センター ☎30-5122
- ◆千倉地域福祉センター ☎44-3541
- ◆丸山地域福祉センター ☎46-2200
- ◆和田地域福祉センター ☎47-3390